



あさひ

学校だより

全国学力・学習状況調査特集号

札幌市立旭小学校

令和6年10月29日

ホームページは <https://www.asahi-e.sapporo-c.ed.jp/>



令和6年度 全国学力・学習状況調査結果

4月に全国の6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」について、本校における結果の概要についてお知らせします。この調査結果は6年生の結果ではありますが、他学年にも共通する学校全体の結果として捉え、今後の指導改善に生かしてまいります。

	学校の概要	今回の調査における課題	改善の方策
国語	【領域】 ◇「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ・全国平均を下回っている。	●学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。	○同音異義語などに注意しながら、自分の書き表したいことに沿って、漢字やその漢字が使われている語句の意味を確かめながら、文を書く学習活動の充実。
	◇「情報の扱い方に関する事項」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。	●文の中における主語と述語との関係を捉えること。	○主語と述語の関係について、低学年から繰り返し指導し、日常的に主語が何かを意識して文章を読んだり書いたりする学習活動の充実。
	◇「我が国の言語文化に関する事項」 ・全国平均とほぼ同程度である。		
	◇「話すこと・聞くこと」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	●目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討すること。	○話し手の目的や意図、聞き手の求めていることに応じて、話す際の材料を集め、分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する学習活動の充実。
	◇「書くこと」 ・全国平均を下回っている。	●資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。	○聞き手がもつ興味・関心や情報量を予想して資料の優先順位等を検討したり、聞き手の反応に応じて、自分の考えが伝わるように表現を工夫したりする学習活動の充実。
		●目的や意図に応じて、集めた材料进行分类したり、関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。	○目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する学習活動の充実。また、内容に注目して、文章全体に一貫性があるかを確かめたり、文末表現に注目して、事実と考えを適切に区別しているかを確かめたりする学習活動の充実。

	◇「読むこと」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	●複数の叙述を結び付けながら、人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。	○登場人物の行動や会話、様子等を表す複数の叙述を結び付け、それらを基に性格や考え方などを考えたり、表現が読み手に与える効果について考えたりする学習活動の充実。
算 数	【領域】 ◇「数と計算」 ・全国平均を下回っている。	●計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述すること。	○計算に関して成り立つ性質を活用して、計算を能率的に処理できる場合があることに気づき、計算を工夫するよさを実感できるような学習活動の充実。
	◇「図形」 ・全国平均を下回っている。	●除数が小数である場合の除法の計算や除数と商の大きさの関係について理解すること。	○除数が小数である場合の除法の計算の仕方や除数と商の大きさの関係について考え、筋道を立てて説明する学習活動の充実。
		●直方体の見取図について理解し、かくこと。	○方眼紙に途中までかかれた直方体の見取図の続きのかき方を考える学習活動の充実。
		●球の直径の長さと立方体の一片の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すこと。	○図形を構成する要素を見だし、それらを活用して体積を求めることができるようにする学習活動の充実。
	◇「変化と関係」 ・全国平均を下回っている。	●速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察すること。および、速さの意味について理解すること。	○道のりと時間の関係に着目し、求めた速さの妥当性を検討する学習活動の充実。
	◇「データの活用」 ・全国平均とほぼ同程度である。	●道のが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること。	○二つの数量の関係に着目し、場面に応じて速さの比べ方を考察できるようにする学習活動の充実。
		●折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述すること。	○日常生活の場面のデータをグラフに表し、その特徴や傾向を捉え、見いだしたことを表現できるようにする活動の充実。

続いて、裏面に「質問紙調査」の結果の中で特徴的だった項目と分析を載せました。「基本的生活習慣等」「挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等」「ICTを活用した学習状況」「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況」などのアンケート調査です。

全国と比較して肯定的な回答が多かった質問項目	全国と比較して肯定的な回答が少なかった質問項目
①学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか。（遊びなどの目的に使う時間は除く） ⇒1時間以上の回答 23.7% 全国比+3.9pt ②携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。 ⇒肯定的な回答 84.2% 全国比+13.1pt ③土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）。 ⇒1時間以上の回答 57.8% 全国比+9.2pt 【詳しい結果】 ・4時間以上⇒10.5% 全国比 +3.2pt ・3時間以上4時間未満 ⇒2.6% 全国比 -1.7pt ・2時間以上3時間未満 ⇒18.4% 全国比 +8.5pt ・1時間以上2時間未満 ⇒26.3% 全国比 -0.8pt ・1時間未満 ⇒42.1% 全国比 -9.2pt	①普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯型のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。 ⇒1時間以上の回答 84.2% 全国比 +9.9pt 【詳しい結果】 ・4時間以上 ⇒28.9% 全国比 +11.2pt ・3時間以上4時間未満⇒18.4% 全国比 +5.8pt ・2時間以上3時間未満⇒15.8% 全国比 -3.1pt ・1時間以上2時間未満⇒21.1% 全国比 -4.0pt ・1時間未満 ⇒15.8% 全国比 -9.9pt ②分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。 ⇒肯定的な回答 68.4% 全国比 -12.3pt 【関連した項目】 ●学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。 ⇒肯定的な回答 65.7% 全国比 -15.1pt ●授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思っていますか。 ⇒肯定的な回答 73.6% 全国比 -10.1pt ③算数の授業は好きですか。 ⇒肯定的な回答 39.5% 全国比 -21.5pt
④国語の勉強は好きですか。 ⇒肯定的な回答 71.0% 全国比+9.0pt 【関連した項目】 ●国語の授業で、目的に応じて、話すために集めた材料を、いくつかのまとまりに分けたり結び付けたりしながら、伝える内容を考えていますか。 ⇒肯定的な回答 65.8% 全国比 -14.2pt ●国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目していますか。 ⇒肯定的な回答 73.6% 全国比 -10.8pt	【関連した項目】 ●算数の授業の内容はよく分かりますか。 ⇒肯定的な回答 60.5% 全国比 -21.6pt ●算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか。 ⇒肯定的な回答 50.0% 全国比 -27.9pt ●算数の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか。 ⇒肯定的な回答 36.9% 全国比 -26.7pt ④普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。 ⇒肯定的な回答 78.9% 全国比 -12.8pt 【関連した項目】 ●自分には、よいところがあると思いますか。 ⇒肯定的な回答 76.3% 全国比 -7.8pt

旭小学校の傾向（考察）

①「学校外での ICT 機器を使った学習」については、本校は平日の持ち帰りはしていませんが、ICT 機器を使った学習の仕方を身に付け、ご家庭の機器を用いて自分で学習できるように子どもたちが育ってきていると考えます。②の「家庭での情報機器の使い方の約束」についても全国平均と比べ高い結果となっておりますので、家庭での約束を守った上で学習に ICT 機器を取り入れているというのは素晴らしいことです。

③では、「休日の学習時間」が全国平均と比べて長いという結果でした。詳しい結果を見ると、「4時間以上」と「2時間以上3時間未満」の回答が、全国平均に比べて高いです。旭スタンダードでは、目安として「学年×10分」、6年生であれば1時間とお伝えしていますが、自主的にそれ以上の時間取り組んでいるのは素晴らしいです。「1時間未満」の回答も全国に比べては少なく、休日も継続して家庭学習に取り組んでいるという望ましい傾向にあります。

一方で、❶の「普段のゲーム時間」は、全国平均に比べて長いという結果がでています。特に1番長い「4時間以上」の項目が10ポイント以上高く、28.9%でした。約3人に1人は毎日4時間以上ゲームをしているといえます。上記の③は休日の家庭学習時間でしたが、平日の家庭学習時間はというと、全国平均より少し低いくらいで、ほぼ変わりませんでした。となると、家族との時間や体を動かす時間、睡眠時間が減っているということが考えられます。健康面などに影響がでないか、学校での学習や生活に支障がでないか心配です。

また、学習に関わることでは❷の「自分で学び方の工夫をする」という項目が低く、関連した項目からも、自分の学習状況を振り返ったり、学んだことを次の学習や普段の生活につなげて考えたりすることが苦手な子も少なくないことが分かりました。学習状況を振り返り、今の自分にどんな学習が必要か考えられると、目標をもって自分の力をより高めていけます。さらに、各教科の学習内容は学年とともに系統的に構成されており、前の学びを活用したり、応用したりすることで自分の力で新しい学びを広げることができます。学んだことを他のことと結び付けて考える力など、学び方や考え方の指導も充実させていきたいと思います。

④では、国語の勉強が好きな子が全国に比べて多いということが分かりましたが、関連項目は低いということから、好きだけど、話し方や読み方のポイントが分からない子もいるということが分かりました。また、❸では、関連項目も含め、算数の学習への苦手意識が表れています。答えを出して終わりではなく、様々な解き方を考えてどれが自分にとってよいやり方なのかを考えることで、それぞれの解き方の特徴やよさを考えられるようになります。そのような力も付けていけるように指導を工夫していきます。

最後に❹では、「幸せな気持ちになること」「自分のよいところ」といった自己肯定感に関わる結果が全国に比べて低い結果になりました。家庭学習もそうですが、子どもたちの頑張りやできたことは小さいことでも見付けて褒め、子どもたちの自信やできた喜びにつなげていければと思います。ご家庭でも学校でも、4月に配付致しました「まほうのかいわ」を合言葉に、子どもたちのよさを認めていきたいものですね。

